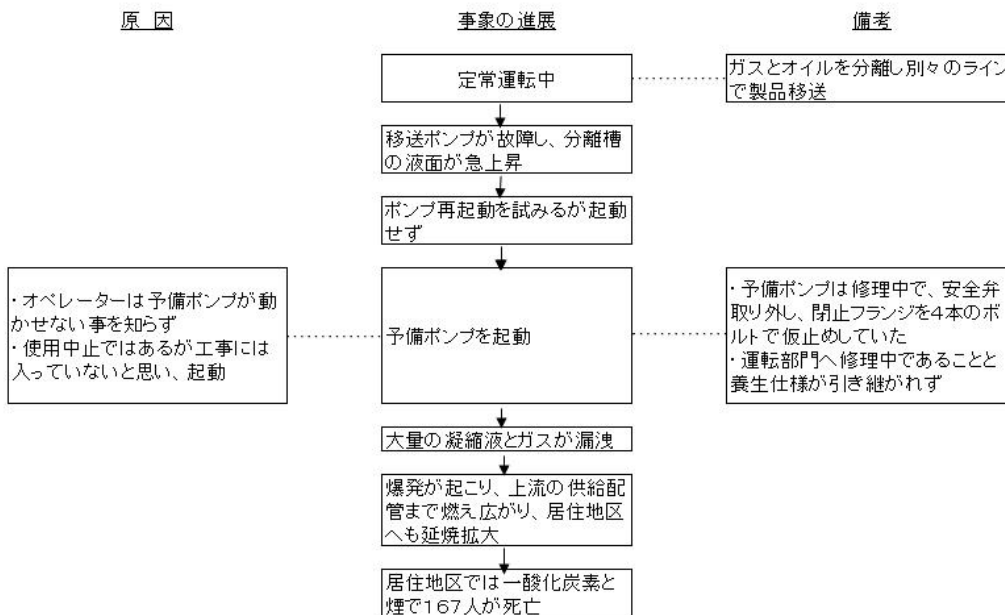




パイパー・アルファ・プラットホームの火災

事象進展図

00290	パイパー・アルファ・プラットホームの火災
発災年月日	1988年7月6日
装置	ガス・オイル分離槽
運転状況	定常運転中
特徴	保全途中のポンプ起動による仮止めフランジからの漏洩とプラットホーム大規模延焼火災



再発防止策

- ・メンテナンスの着工許可の引継ぎが完全なものにする。
- ・第三者機関の監査指摘事項(圧力損失時などに海面位で封鎖する放水システムをライザー用に設置すること)の対応を処置する
- ・緊急時対応の教育、訓練の実施
- ・モジュール間の防火壁の耐爆設計

安全専門家コメント

メンテナンス部門とオペレーション部門との工事着工前および終了後の引継ぎや報告・連絡は不可欠であり、毎日行わなければならない。適切なコミュニケーションが常に図られるよう教育・訓練も大切である。

また、プロセスの本質安全設計に係わる第三者監査の内容を真摯に受けとり、具体的に対応・処置を決めて実行することが肝要である。この事故の1年前にライザーに関連した大火災の可能性を指摘し、突発故障の際にプラットホームが破壊される可能性があることを指摘していたことを強く認識すべきである。

プラットホームのようにごく限られた空間に多数の人員が居住したり作業するような施設では、最悪の災害を想定した避難訓練、人命救助対策、延焼防止・酸欠防止対策を事前に検討しその対策を実施しなければならない。

関係者との報告相談連絡は、仕事を進める上での最低限のルールであり、これはチームで仕事をするためには絶対に欠かせないものである。基本中の基本をないがしろにした結果がこのような事故に発展する。

引き金事象発生の原因

- ・分解途中の予備ポンプを起動
- ・予備ポンプの安全弁が取り外され、閉止板がボルト4本で仮止めてあった

事故の引き金事象

ポンプ保全中の仮止めフランジからの漏洩

事故に関係した直接・間接要因

- 《人的要因》
 - ・作業確認不足・ミス
- 《情報要因》
 - ・指示・伝達不足
- 《管理・運営要因》
 - ・安全監査制度の不備・不十分
 - ・安全教育制度の不備・不十分



パイパー・アルファ・プラットホームの火災

添付資料・参考文献・キーワード

参考資料（文献など）

▶ 添付資料

▶ キーワード(> 同義語)

- 🔑 メンテナンスとオペレーションのコミュニケーション
- 🔑 プラットホーム
- 🔑 ポンプ
- 🔑 ガスライザー

▶ 関連情報